

目 次

巻頭言 代読裁判と私	小田中聡樹
はしがき	
プロローグ ザ・チャレンジド	I 小池公夫
第Ⅰ部 運 動 編	
第1章 「代読発言」の申入れと当事者無視の議会運営	11 小池 桂
第2章 広がる支援・閉ざされた議会	20 川崎和代
第3章 正義は我々に	25 小池のり子
第4章 闘いは司法の場へ	32 安藤友人
第5章 「代読裁判」を支えた現地市民の運動	45 赤尾万作
第6章 岩手に生まれた「『代読裁判』支援の会」とその成果	48 下村次弘
補 章 「壁」はどこにあったのか?——ドキュメンタリー『声の壁』より	53 大脇三千代
第Ⅱ部 理 論 編	
第1章 「代読裁判」の争点	57 川崎和代
第2章 議会の自律権と司法審査	66 小林 武

第3章 議会における「いじめ」の違法性と地方自治体の賠償責任	80
岡田正則	
第4章 代読裁判と権利条約——差別概念からの再構成	94
川島 聡	
第5章 障害をもつ人の憲法上の権利と代読裁判	110
植木 淳	
第6章 障害のある人の「自己決定権」と「合理的配慮」	122
竹下義樹	
第7章 自立を求めて——代読裁判についての梅尾陳述書の意味	134
中谷雄二 梅尾朱美	
第8章 喉頭摘出者の現状と合理的配慮	147
宇佐美昭夫	
第9章 代読裁判の意義と残された課題	152
井上英夫	

第Ⅲ部 資 料 編

1. 岐阜県弁護士会人権擁護委員会勧告書（抜粋）	169
2. 全日本聾唖連盟 質問書	177
3. 障害者の政治参加をすすめるネットワーク申入書	180
4. 2010年9月22日岐阜地裁判決（抜粋）	182
5. 2012年5月11日名古屋高裁判決（抜粋）	190
6. 原告代理人目録	200
7. 地裁判決弁護団声明	201
8. 高裁判決弁護団声明	203
9. 「代読裁判」——闘いの記録	205
エピローグ 灯された人権の「聖火」を次世代へ	211
小池公夫	

あとがき